

令和元年 **6** 月の大阪森林便り

目次

今月の木の話 浮世絵の版木と櫛、将棋の駒

- (1)  北米産丸太が下落 4 か月ぶり 5 月積み
- (2)  セイホク、合板値上げ 5~8%



今月の木の話

浮世絵の版木と櫛、将棋の駒

- * 木の板に字を彫り込んで刷り始めたのは西暦 770 年とされています。
 - * 江戸時代中期になってから町人文化の発展に伴い、木版刷りの最盛期となりました。
 - * 版木のほとんどはサクラ系統
 - ・ 目の詰まった堅い材で、縦も横も均一な密度のものが要求されます。
 - ・ 黄楊（ツゲ）や朴（ホオ）の木なども利用されました。
 - * 浮世絵版画は絵師・彫師・摺師の共同作業。
 - ・ 1 枚仕上げるのに 5~6 枚の版木を使用。
 - ・ 色彩の都合によって 10 度以上の刷り上げとなるようです。
 - * 櫛は薩摩黄楊をもって最もよしとするようです。
 - ・ ツゲは暖地に自生し、伊豆諸島が産地として有名なようです。
 - * 将棋の駒の材料は黄楊を始め、ツバキ、イチョウ、タラの木など。
 - ・ 彫りのできる木目の詰まった色合いの薄いものが好まれます。
- (日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用)



(1)  北米産丸太が下落 4か月ぶり 5月積み

日本の住宅、需要鈍く

*北米産丸太が値下がり。

- ・5月積み対日価格は4か月ぶりに下落。
- ・米国内の木材価格は横ばい。
- ・4月積みより1%程度安くなっています。1月積みの水準。

*消費増税の駆け込み需要で、3月の新設住宅着工で持ち家の前年比伸び率は8.9%。

- ・伸び率が10%を超えた1997年や2014年の増税前を下回ります。

(2019年5月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(2)  セイホク、合板値上げ 5~8%

*国産合板大手のセイホクは、針葉樹合板の出荷価格を6月分から5~8%引き上げ。

*原料となる杉などの原木や配送費の上昇分を転嫁。

*4月の国産針葉樹合板の在庫量は142,600M3と、3月に比べて0.6%少ない水準。

(2019年5月31日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

